

奄美黒糖は12点入賞

品質優等165点発表

県本格焼酎鑑評会表彰式

【鹿児島総局】2022

酒造年度に製造された県産本格焼酎の出来栄を審査する鑑評会（県酒造組合主催）の表彰式が10日、鹿児島市内のホテルであった。品質が優等と評価された165点を発表し、奄美黒糖焼酎は前年より3点少ない12点が選ばれた。

今回はサツマイモ156点、黒糖26点、米8点、麦25点の計215点が出品された。1月19、20の両日に審査会があり、熊本国税局

や県工業技術センターの職員ら6人が審査した。

審査長を務めた本村創・熊本国税局鑑定官室長は黒糖焼酎について「原料の特性が生かされた甘く香ばしい香りと、上品な甘みが調和しているものがそろっていた」と講評。黒糖焼酎の入賞者を代表して奄美大島酒造（龍郷町）の有村成生代表取締役が表彰状を受け取った。

同組合の濱田雄一郎会長は、サツマイモ基腐病による原料不足や物流コストの上昇など、酒造業界を取り巻く厳しい環境に触れ「今年は鹿児島県内も開催される。全国から鹿児島を訪れる多くの選手や関係者を本格焼酎でおもてなしして、PRしていきたい」とあいさつした。

黒糖焼酎の優等銘柄、製造場、製造責任者は次の通り。



黒糖焼酎の入賞者を代表して表彰状を受け取る奄美大島酒造の有村成生代表取締役（左）＝10日、鹿児島市

り。（敬称略）

▽弥生（弥生焼酎醸造所）川崎洋之▽氣（黒）（西平本家）小瀬戸悠悟▽うかれけんむん（奄美大島開運酒造）高妻淑三▽龍宮（富田酒造場）富田真行▽浜千鳥乃詩（奄美大島酒造）安原淳一郎▽里の曙（町田酒造）永井辰之▽奄美（奄美酒類）元田武志▽島のナホレオン（奄美大島にしかわ酒造）永

喜竜介▽稲乃露（沖永良部酒造）新里美佐樹▽天下無双（新納酒造）新納仁司▽満月（原田酒造）有川貞一▽島有泉（有村酒造）福地成夫

2023年(令和5年)
2月12日(日)
旧暦1月22日・仏滅

発行所
日本新聞協会加盟
南波目新聞社
〒894-8601
鹿児島県奄美市吾妻町10番3号
電話 0997局

編集・総務局
53-2121 フاكス 52-2354
編集局
53-2127 フاكス 53-6636
Eメール nankaimbo@nankaimbo.co.jp
営業局
53-2126 フاكス 53-6431
Eメール nanka@nankaimbo.co.jp
販売部
53-2125 フاكス 53-1475
http://www.nankaimbo.co.jp
©南波目新聞社 2023年

南波目新聞